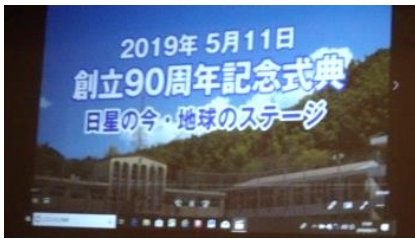


日星高等学校 90 周年記念式典 2019 年 5 月 11 日 舞鶴市総合文化会館大ホール



日星高校の歴史とドローンで撮影された校地の映像。書道パフォーマンス。吹奏楽部による校歌演奏に合わせて、見事な書ができあがりました。「令和元年 新しい時代を舞鶴から 人と共に 人のために 心豊かな人に」



カトリック京都司教区大塚司教によるお祈りと祝福。聖書にある「パン種の話」を例えて、学校の発展と周りを変えていくことの大切さをお話していただきました。水嶋校長から「小さき者とあれ」の90年の歩みと恩寵。山口副市長の祝辞は、舞鶴市の取組や地域社会の本校への大きな期待を語られました。ご来賓の皆様へ感謝。



「日星の今」は、高辻さんによる各コースで活躍する生徒へのインタビューです。留学経験、日常の生活、部活動の面白エピソードを紹介してくれました。体操部の藤井さんはジャージのまま、バク転を披露してくれました。締めくくりは、チアリーディング部の演技が華やかに繰り広げられました。



第2部では桑山紀彦氏と佐々木清和氏によって、90周年にちなんで、合計90分の講演。医師の桑山氏は世界のさまざまな地域で困難を生きている人を紹介。映像を交えての感動的なステージでした。そして高校生へ「たくさんの生き方がある。世界はとても広く優しい。自分の人生の主人公として生きていこう」とメッセージをいただきました。佐々木氏は東日本大震災で家族を失った経験から、当たり前の生活のありがたさを教えてくださいました。



最後は全員で「群青」を歌いました。合唱部や音楽選択生、手話クラブもステージへ参加しました。1部の厳かな式典とともに、2部では命の大切さを感じることができました。日星高校の生徒が作る、日星高校らしい思い出に残る式典となりました。

